

良い思い出づくりの年にしよう

笠原正義 校長

『よく考え、進んで実行する子供』を教育目標としています。が、今一歩自分の考えを発表する態度や、積極性に欠けているように思いますね。
また、がまんのたりない子が多いですね。耐えしのぶ面を育てていきたいと思

っています。体を動かすことで、こうしたきつかけを作りたいと、体育スポーツ面を重視しています。
子供たちは、この学校が統合により、今年度限りでなくなることを、実感として感じてはいないようです。
『終り良ければ全てよし』良い思い出づくりのためにも、小林小学校の最終年度ということを認識し合い、一日一日を大切に過ごそうと指導しています。

学校めぐり



「ありがとう」と、止まってくれた車に大きな声でお礼を言う。小林小学校の子供たちはとても礼儀正しい

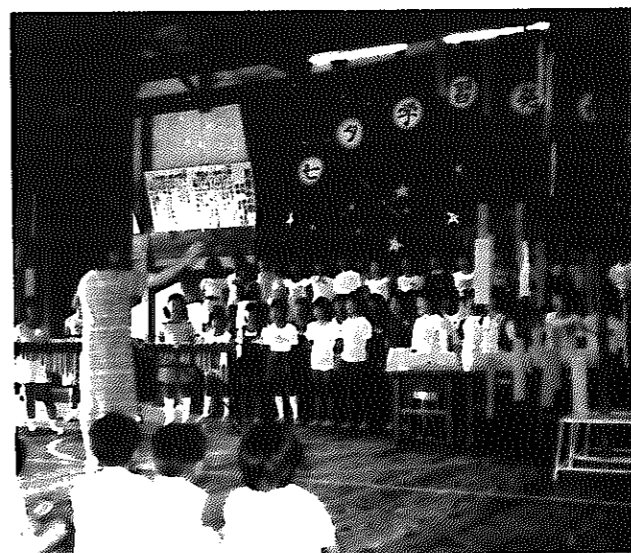
さわやかさを運ぶ集団登校



小林小学校



上級生を先頭に、部落単位に集団で登校する子供たち。上級生がとてものしく見えます



七夕学習発表会でも、学年と部落単位で学習成果を発表



豆まき集会では部落ごとに出し物を

活躍



生野 勉くん 6年生

市内大会では負けてしまったけど、ピッチャーで三番を打っていました。白根一中に入っても、野球を続けるんだ。
児童会では購買委員。いろんな人が買いくるから楽しいよ。



徳永真理子さん 5年生

家庭クラブでは、ぬいぐるみを作ったけど、あまりうまくできなかったんです。
新しい学校がどんどんできていくのを見るたびにうれしくて…。でも、この学校も好きなんです。



石塚延子さん 4年生

今、みんなが夢中になっている遊びは、助け鬼とボールあてかな。たなばた学習発表会が楽しいから私の一番大好きな行事です。
料理が好きだから、大きくなったら料理の先生になりたいなあ。



土屋 修くん 3年生

ぼくは、図工が大好き。絵をかくのが得意なんだ。
この学校は古いけど、好きな学校…こわすなんでもったいないね。統合したら、早く仲良くなってハンドベースボールをやりたいなあ。

黄色い旗を持った上級生を先頭に、登校する集団を見かけました。横断歩道では、渡り終えると止まってくれた車に向かって「ありがとうございました」と、大きな声でお礼を言う姿は、とてもすがすがしい気持ちにさせてくれました。
小林小学校(児童数百三十二人)では、集団登校を行っており、効果を上げています。

部落単位の集団に分け、通学時や校内行事はもちろん、校外でもこの集団活動は生かされています。たとえば、児童会行事の七夕学習発表会や豆まき集会では、部落単位で寸劇や音楽発表を行います。学年やクラス単位の発表が多いこの種の行事も、この学校では、一年生から六年生のデコボコ集団が演技するのです。夏休みには、部落ごとに花火大会やお化け大会などを行っています。

こうした部落単位の縦割り集団を通して、人間的なつながりを深めることができるのだそうです。高学年は低学年のめんどうを見てやり、低学年は高学年の言うことを良く聞き、互いに協力し合っているのです。学校へ行くのが楽しみと、子供たちは話していました。
同校は来春、戸頭小学校と統合し、新しく完成する小林小学校に入ることになっています。